

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年39週 (9月4週 9/25~10/1)
 愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)
<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>
 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
 連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

RSウイルス感染症、インフルエンザ、集団かぜの発生、梅毒、腸管出血性大腸菌感染症
 病原体検出情報
 定点医療機関コメント
 インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、手足口病、マイコプラズマ感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(34)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(4)、急性脳炎(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(9)
 定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

RSウイルス感染症 (図1)

39週の定点当たり報告数は1.87、38週350人、39週341人(うち0歳127人、1歳118人)で、2歳未満の報告数が全体の71.8%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症が流行しています!

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000016941.html>

RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

インフルエンザ

39週の定点当たり報告数は0.11、38週27人、39週22人です。

【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infllu_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/index.html>

集団かぜの発生について

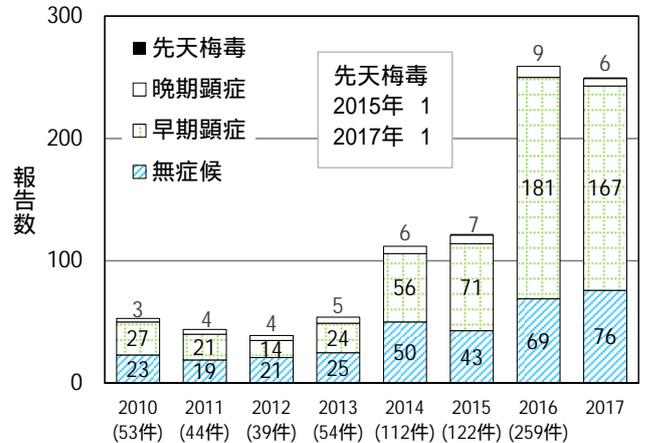
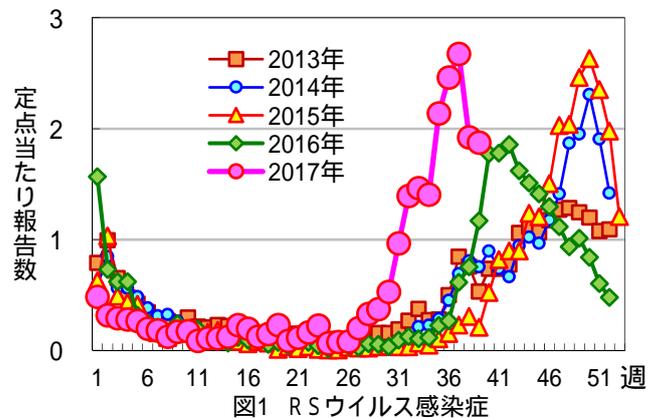
【参考ページ】集団かぜの発生について(2017-2018シーズン)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/ichiran.pdf>

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/infllu/syudankaze2.html>

梅毒 (図2)

2017年39週までの累積報告数(診断週集計、10月4日現在)は250件(男174件、女76件、うち先天梅毒1件)です。2016年39週までの累積報告数は199件(男150件、女49件)、2016年総報告数は259件(男189件、女70件)でした。全国の2017年38週までの累積報告数は4,086件です(2016年総報告数は4,559件)。



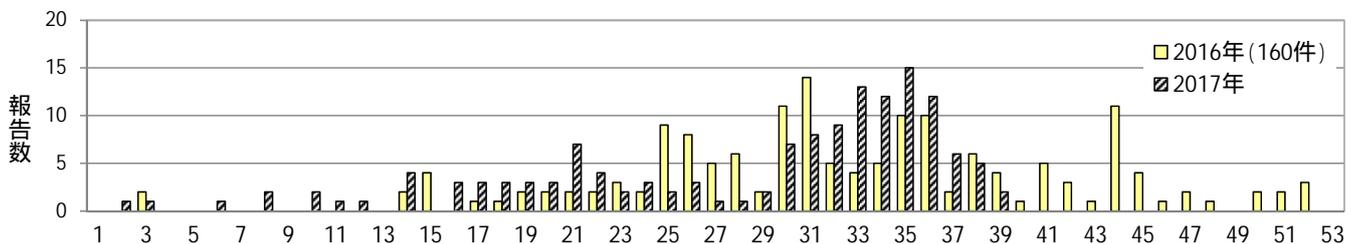
腸管出血性大腸菌感染症 (図3)

愛知県の2017年報告数(診断週別)は、10月4日現在142件(O157 88件、O26 25件、O145 14件、O103 5件、O121 3件、O128 2件、O91・O111・O146 各1件、型不明2件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は3件です。2016年の同時期(1~39週)報告数は124件、年間報告総数は160件(うちHUS発症例10件)でした。

【参考ページ】腸管出血性大腸菌 http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#id2_4

腸管出血性大腸菌感染症・食中毒の予防対策等の啓発の徹底について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzentu/0000177366.pdf>



病原体検出情報 2017年疾患別ウイルス検出速報 (2017年10月1日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ		** 麻しん・風しん
								2017/2018 シーズン	2016/2017 シーズン	
患者数	175	109	25	18	1	14	16	2	605	9(8)
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	41	8	-	-	1	-	-	-	-
CV-A10	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CV-B5	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
E-3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
E-6	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-
E-7	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
E-9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	-	422	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	26	-
HPIV-2	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Rota A G1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	21	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Rota A G8	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	38	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	3	1	-	3	-	-	-	-	1	-
Ad-2	10	-	-	4	-	-	-	-	1	-
Ad-3	2	1	-	6	-	-	-	-	1	-
Ad-5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-6	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-31	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
検査中	17	18	6	0	0	4	1	2	3	0(2)
陰性	40	27	5	2	1	6	13	0	92	9(6)

*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月~)及び2016/2017シーズンの結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略:ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、
 EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、
 FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、
 HPIV: ヒトパラインフルエンザウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、
 SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザA 2歳女（祖母からの感染）
目立つ感染症ありません。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
RSV 続発中も、減少傾向
インフルAH1N1pdm 1例あり
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

手足口病 7件、溶連菌 10件、アデノ 1件
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
RS ウイルス散発
胃腸かぜが多い様です。
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザA型 36歳女
【あま市 医療法人村上医院】

尾張東部地区

手足口病まだ少し見られます。
水痘(5歳男)はワクチン2回接種歴ありました。
その他マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症等
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザ陽性報告なし
RSV は多いようです。
手足口病は少ないですがあります。
【春日井市 春日井市民病院】
溶連菌少々
その他目立つものありません。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
19歳男 カンピロバクター(+)
【半田市 医療法人林医院】
水痘症散発
【南知多町 医療法人大岩医院】

1歳女 インフルエンザA
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
3歳男 マイコプラズマ
RS ウイルス 7名いました。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
RS ウイルス感染症 5名(2か月、7か月、2歳、
3歳、4歳)
アデノウイルス感染症 3名(1歳 2名、4歳 1名)
インフルエンザA型 2名(母から子への感染
と思われまます。))
【東海市 もしもしこどもクリニック】
インフル A型です。
【知多市 つつじが丘こどもクリニック】

西三河地区

E. coli(O6) 2歳男
RSV(+) 2か月男 1歳男 7か月女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
1歳女 サルモネラO7、病原性大腸菌O25VT(-)
6歳男 サルモネラO8
【岡崎市 にいのみ小児科】
マイコプラズマ感染症 5歳女 8歳男 5歳男
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
A型インフルエンザ 男1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
サルモネラO4群 8歳女
病原性大腸菌O1 4歳男
RSV 感染症あい変わらずです。
【岡崎市 花田こどもクリニック】

RSV 感染症目立ちます。
感染性腸炎が増えてきました。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザB型 1名
【西尾市 西尾市民病院】
インフルエンザB型 4歳男 型不明 8歳男
一部保育園・小学校で散発発生
【西尾市 山岸クリニック】
2歳男 カンピロバクター
【西尾市 こどもクリニック宮地医院】
サルモネラO7 3歳男
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

サルモネラ 4名
カンピロバクター 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年10月4日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年39週報告数			2017年総計(1～39週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	2	4	435	96	105
豊田市	2	1		48	12	9
豊橋市	2		1	48	9	16
岡崎市	3	2	1	35	14	11
一宮	5	2		80	28	30
瀬戸				79	9	30
半田	2		1	49	11	17
春日井	1			90	19	31
豊川	1	1		31	13	3
津島	1	1		68	8	20
西尾				19	7	2
江南				34	10	8
新城				3	1	1
知多	1			38	15	11
清須	1		1	26	10	6
衣浦東部	2	1		62	12	20
合計	34	10	8	1,145	274	320

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	21歳	男	- / -	9 / 19	9 / 25	O157、VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者
2	名古屋市	21歳	女	9 / 19	9 / 19	9 / 26	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	18歳	女	デング熱	タイ

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊田市	92歳	男	肺炎型	国内
2	豊橋市	55歳	男	肺炎型	国内
3	瀬戸	69歳	男	肺炎型	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊田市	77歳	女	以前からの保菌	国内	無
2	半田	78歳	男	以前からの保菌	国内	無
3	春日井	83歳	女	以前からの保菌	国内	無
4	衣浦東部	72歳	女	医療器具関連感染	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	2歳	男	病原体不明	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	男	有	国内
2	岡崎市	73歳	女	無	国内
3	江南	4歳	女	有	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	40歳	男	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	80歳	女	無症候	不明	国内
3	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	豊川	24歳	女	無症候	不明	国内
7	西尾	47歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	江南	23歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	知多	48歳	男	早期顕症	性的接触	国内

グラフ総覧

2017年39週(9月25日～10月1日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年39週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

